２０２５年度　北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	☑ 一般入試 ☐ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（　日本古典文化論　）
出題の意図	問題一は日本文学・日本文化研究に関わる分野から、その文学史・文化史的、あるいは国語史的問題に関する理解と知識を質すと共に、文章読解能力及び文章表現能力も併せ見るものである。 問題二は日本古典文学研究における最も根本的な作品読解能力を問うものである。また、原資料を取り扱う能力を見るために変体仮名の翻字も課す。 問題三は日本古典文学研究に必要かつ重要な能力である漢文読解能力を問うものである。

２０２５年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験）　日本古典文化論　　全４枚のうち１枚目

この試験では，試験問題　４枚，解答用紙　３枚を配付する。

問題一

次の文章は川本皓嗣『日本詩歌の伝統――七と五の詩学――』の一節である。読んで設問に答えよ。

＊問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、左記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典　川本皓嗣『日本詩歌の伝統』（岩波書店、一九九一年、四六～四八頁）

注

「三夕」の歌　心なき身にもあはれは知られけり鴫立つ沢の秋の夕暮　西行

さびしさは其の色としもなかりけり真木立つ山の秋の夕暮　寂蓮

み渡せば花ももみぢもなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮　藤原定家

芭蕉の「秋の暮」　この道に行く人なしや秋の暮　松尾芭蕉

『古今集』の「こぬ人を松ゆふぐれ」

来ぬ人を松ゆふぐれの秋風はいかに吹けばかわびしかるらむ　読人しらず

俊成の「深草の里」　夕されば野辺の秋風身にしみて鶉鳴くなり深草の里　藤原俊成

「通念化されたコノテーション」　文化的に共有され継承された意味合い。合意するもの。

問Ⅰ　傍線部Ａについて、文中の表現を踏まえ分かりやすく説明せよ。

問Ⅱ　傍線部Ｂについて、文中の表現を踏まえ「「心ある」人々」の指すものを明らかにしながら分かりやすく説明せよ。

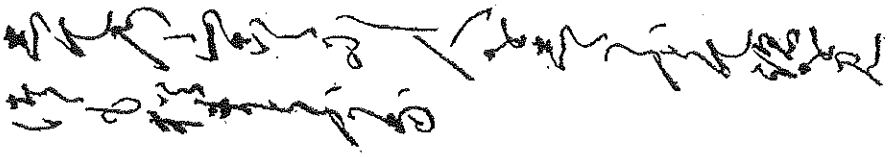
問Ⅲ　右の文章を踏まえて、各自の観点から自由に論じよ。注に挙げた和歌・俳諧を具体例として用いてもよい。

問題二

次の文章は、「源氏物語」幻巻の一節である。読んで設問に答えよ。

落ちとまりてかたはなるべき人の御文ども、「破れば惜し」と思されけるにや、すこしづつ残したまくりけるを、もののついでに御覧じつけて、破らせたまひなどするに、かの須磨のこころぼひ、所どころより奉りたまひけるもある中に、かの御手なるは、ことに結ひあはせてぞありける。みづからしおきたまひけることなれど、久しうなりにける世のことと思すに、ただ今のやうなる墨つきなど、げに千年の形見にしつべかりけるを、見ずなりぬべきよと思せば、かひなくて、疎からぬ人々二三人ばかり、御前にて破らせたまふ。

いと、かからぬほどのことにてだに、過ぎにし人のあとと見るはあはれなるを、ましていとどかきくらし、それとも見分かれぬまで降りおつる御涙の水茎に流れそふを、人もあまり心弱しと見たてまつるべきが、かたはらいたうはしたなければ、おしやりたまひて、



さぶらふ人々も、まほにはえひきひろげねど、それとほのぼの見ゆるに、心まどひどもおろかならず。この世ながら遠からぬ御別れのほどを、いみじと思しけるまに書いたまくる言の葉、げにそのをり よりもせきあへぬ悲しさ、やらん方なし。いとうたて、いま一際の御心まどひも、女々しく人わるくなりぬべければ、よくも見たまはで、こまやかに書きたまくるかたはらに、

A かきつめてみるもかひなし藻塩草おなじ雲居の煙とをなれ

と書きつけて、みな焼かせたまひつ。

問一　傍線部Aを現代語訳せよ。

問二　本文中のくずし字の箇所を翻字せよ。

問三　二重傍線部を現代語訳せよ。なお、そのさい「この世ながら遠からぬ御別れのほど」を具体的に説明すること。

問四　後代作品における『源氏物語』享受・受容について具体例を挙げながら説明せよ。

問題三

次の文章は『論衡』芸増第二十七の一節である。読んで設問に答えよ。

詩云、鶴鳴九皐、声聞于天。A言鶴鳴九折之沢、声猶聞於天、以喩君子修徳窮僻、名猶達朝廷也。言其聞高遠、可矣、B言其聞於天、増之也。

彼言声聞於天、見鶴鳴於雲中、従地聴之、C度其声鳴於地、当復聞於天也。（中略）然則耳目所聞見、不過十里、使参天之鳴、人不能聞也。何則、天之去人、以万数遠、則目不能見、耳不能聞。

注　鶴鳴九皐、声聞于天　『毛詩』小雅・鶴鳴の一節。原典には「鶴鳴于九皐、声聞于天」とある。
九皐　奥まった沢。
窮僻　草深い田舎。
増　誇張する。
度　推しはかる。
参　まじわる。

問一　傍線部Aをわかりやすく訳せ。

問二　傍線部Bはどうして誇張だというのか。後半の文章を踏まえて理由を説明せよ。

問三　傍線部Cを平仮名のみの書き下し文に改めよ。